



幕張メッセで2024年5月22日～24日に開催された第6回建設・測量生産性向上展で聴講した複数のセミナーから、今後の仕事に役に立ちそうな情報をピックアップし備忘メモとしてまとめました。

◇NETIS（New Technology Information System）

国土交通省が新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステム。

法人個人問わず、誰でも閲覧することができる。

☆NETIS（新技術情報提供システム）ホームページ

- ・ [新技術の検索](#)
- ・ [NETIS の紹介動画](#)
- ・ [公共工事等における新技術活用システム（パンフレット）](#)

☆NETIS 利用の施工者側メリット

・メリット1：技術評価点の向上

「総合評価落札方式」において、NETIS 登録技術を使った技術提案を行うことで、技術評価点の向上が見込める。

・メリット2：工事成績評定点の向上

NETIS 登録技術を活用して施工を行うと、工事が完成した段階で工事成績評表定点の加点対象になる。

また、施工におけるコスト削減や、工期短縮など質の高い施工実績を残すことで、次回入札に有利になる評価に繋がる。

◇新技術関連の予算

- ・ 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

- ・ Society5.0 との橋渡しプログラム（BRIDGE）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/bridge/index.html>

Society5.0 とは：[内閣府のホームページ](#)

- ・ SBIR（Small/Startup Business Innovation Research）

<https://sbir.csti-startup-policy.go.jp/>

◇建設関係の技術・取組の表彰制度

- ・ インフラメンテナンス大賞

<https://www.im-award-form.jp/index.html>

- ・ インフラ DX 大賞（旧 i-Construction 大賞）

- ・ 日本スタートアップ大賞

<https://www.mizuho-rt.co.jp/topics/2024/startup.html>

- ・ 建設人材育成優良企業表彰

<https://www.kensetsu-kikin.or.jp/humanresources/kigyou-hyosyou/>

2024/05/24